

第2回中核市推進本部会議報告

日時 平成19年9月5日 10:30～11:05
場所 4-1会議室
議題 各部会の取組の進捗状況及び今後の課題について
出席 22人

1 各部会の取組の進捗状況及び今後の課題について

各部会長（7部会）から、部会の取組の進捗状況や今後の課題について、資料に基づき報告がなされた。（以下、質疑応答等）

- ・文教部会について確認するが、ほとんどの項目（条例等の整備、審議会等付属機関の設置、電算処理の対応、研修の実施の検討等）で「該当なし」となっている中で、「事務執行体制」についてのみ「検討中」となっているのは、どういうことか。
（県費負担教職員の）法定研修等に係る事務は中核市移行により県から移譲されるため、当該事務を実施する体制を検討する必要がある。しかし、先行市の例によると、必ずしも、中核市移行後、全面的に市単独で研修を実施しているということではないようである。本市が中核市に移行しても、大部分の研修を市単独実施とするのではなく、県実施研修への参加という方式とするのならば事務執行体制等に関する検討は必要ないが、どのように研修を行っていくのか検討を深めるとともに、平成20年度に中核市移行を目指している西宮市の動向等も注視しながら考えていきたい。
- ・既存の社会保障審議会と、法定で設置される社会福祉審議会との関係はどうなるのか。並存する可能性はあるのか。
中核市において、社会福祉審議会は必置となる。県の社会福祉審議会では、身体障害者や民生委員に係る専門分科会、またその下にも部会を抱えている。県のようなやり方をするのであれば、別個に社会保障審議会を置く必要はないと考えている。
- ・やり方によっては両審議会が並存する可能性があるのか。
（本市の設置方法については）まだ詳細は詰められていないが、県の社会福祉審議会の例から考えると更に社会保障審議会において何を審議するのか、という感じはする。
- ・同感である。無駄の無いよう、整理が必要だと思う。

2 その他

都市政策課長より、スケジュール等について報告がなされた。（以下、報告内容）

- ・今後のスケジュールについて報告する。総務省ヒアリングの日程は1～2月と聞いているが、流動的である。ヒアリングに向けた県との協議も予定されていることから、必要資料の調整については11月末を目途と考えている。次回の本部会議はその時期になる見込み。これを念頭に、各部会におかれては引き続き調査・検討をお願いしたい。
- ・8月27日に市長から知事に対し、県政要望のひとつとして「中核市移行に際しての支援・協力について」という要望をしている。

以上